

特集

OSCEに備える！アップデートする！

【OSCEの目的整理とデザイン設計】

〈対談〉試験・評価の枠を超えるOSCE——看護実践能力の向上と

職業的アイデンティティの確立 野島敬祐、樋之津淳子

導入・運用にあたってのOSCEデザイン設計 野島敬祐

【看護教育でのOSCE導入・運用事例】

札幌市立大学 貝谷敏子、他

茨城県立医療大学 高村祐子、他

島根県立石見高等看護学院 吉田真奈美

【他専攻/学科から知るOSCE】

助産学専攻でのOSCE 島田智織

リハビリテーション系学科でのOSCE 篠崎真枝、上岡裕美子

巻頭インタビュー

今、気になる本の著者！ 櫻井 将さん

連載

変わる！変える！医療安全教育②……………島田伊津子、甲斐由紀子

新しい「医療者像」を探る⑤……………鷹田佳典

看護教育にウェルビーイングを！⑦……………秋山美紀

臨床で本当に必要な薬のおはなし ⑪ 皮膚の生理と保湿薬……………大井一弥

看護教育学のススメ⑨ 大阪医科薬科大学大学院

臨床倫理を映画で学ぼう！plus⑰ しわ……………浅井 篤

※予定であり変更の可能性があります。

看護教育 第65巻4号（通巻767号）

2024年8月25日発行（年6回発行）

発行：株式会社医学書院

代表者：金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

販売・PR部 TEL：03-3817-5654

『看護教育』編集室 TEL：03-3817-5776

メールアドレス：kankyou@igaku-shoin.co.jp

担当：坂元・福村・番匠

Published by IGAKU-SHOIN Ltd.

1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

©2024, Printed in Japan

印刷：株式会社双文社印刷

1部定価 2,860円（本体2,600円＋税10%）

2024年年間購読料（送料弊社負担、年6冊）

冊子版、電子版／個人：16,500円

（本体15,000円＋税10%）

電子＋冊子版／個人：18,150円

（本体16,500円＋税10%）

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY

〈出版者著作権管理機構委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、info@jcopy.or.jp）の承諾を得てください。

『看護教育』は株式会社医学書院の登録商標です。

編集後記

4号では、巻頭インタビューと特集1（省察的実践）を担当しました。巻頭インタビューでは、目から鱗の「半身で働く」姿勢について伺い、自らの働き方を考え直すきっかけとなりました。私自身、幼い頃から父に「楽しむ気持ちを忘れずに！」と繰り返し教えられてきたことから、4分の3身くらいは実現できているように感じます。目の前のことでいっぱいになるのではなく、少し自分を俯瞰して、やや力を抜いたくらいが物事うまくいったような気が、たしかにしています。特集では、対人関係専門職のみなさ様が抱える葛藤、また人とかわる上で心がけていることを折に触れて知り、大変勉強になりました。将来後輩ができた際は、本誌を読み返した上で向き合いたいと思います。（福村）

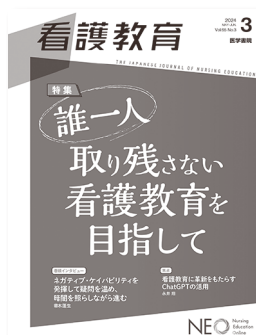
緒方巧先生にご招待いただき、浦添看護学校での「協同学習を用いた看護教育研究会」取材しました。ワークでは、話す、話を聞く、意見を交わすことの純粋な楽しさを実感しましたが、これはまさに仕掛けが動いていたんだと感じます。私事ですが就職活動のこと。面接では想定問答集の記憶に傾倒し失敗を重ねていましたが、あるグループ面接で、隣の人のずれた回答にふと意識が向き、人の話を聞いていないなど。まさに、人のふり見て我がふり直せですね。その時、何とか1社の内定を得て、心に余裕ができていたから気づけたのだと思います。人の話を聞く、心配事なく話せる場がある——意識が少し向くだけで、大きな変化をきっと生み出します。（坂元）

BACK NUMBER

バックナンバーのご案内

2024年3号

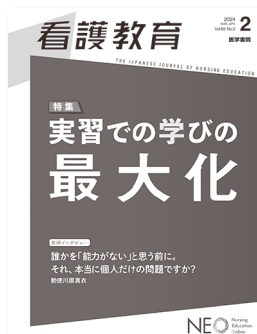
特集 誰一人取り残さない看護教育を目指して



学生の悩みや訴えを受け入れることは、学生の救いとなるばかりでなく、教職員にとっても、今まで気づけなかった学生の声を知るきっかけになります。また、授業方法のさらなる改善につながり、学生もその環境の中で一步步適応していけるのではないのでしょうか。2024年4月より、障害のある方への合理的配慮の提供が義務化されましたが、それを有機的に捉え、教育機関の役割と行動を考える上でのヒントとなる取り組みをご紹介します。

2024年2号

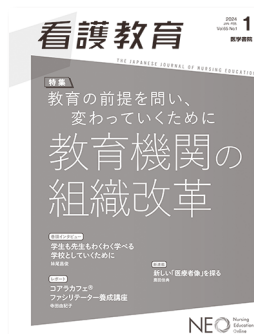
特集 実習での学びの最大化



基礎教育を臨床にうまくつなぐために必要な臨地実習。教員にとって、その学びの機会を学生にどう提供するか、また、どうやって効果的なものにするか、試行錯誤の日々です。実習で個々の学生が体験・実践できることを少しでも積み重ねるための工夫・ヒントをお届けします。

2024年1号

特集 教育の前提を問い、変わっていくために教育機関の組織改革



医療構造、人口動態などの社会変化により、看護教育機関には地域や学校の特性を反映した教育が求められます。この実現に向け、教育機関・教員が自律的に教育の在り方を捉え直し、組織をつくっていかねばなりません。本特集では、その道筋や教員が発揮すべきリーダーシップをご紹介します。

2023年6号

特集1 実践にいきるフィジカルアセスメント

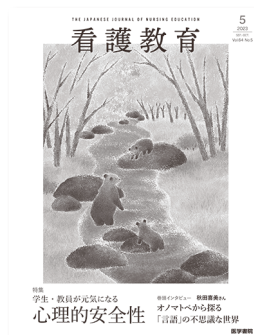
特集2 受験生はこんな教育を受けている！ 小論文・面接では何を評価すべきか



特集1では、「実践にいきる」を主眼に、時代に即したフィジカルアセスメントの学習法を読者と共有します。特集2では、看護系大学や専門学校の受験生が初等中等教育で経験してきた教育内容をふまえ、入試、特に小論文・面接で何を評価し、何を求めるのかを考えます。

2023年5号

特集 学生・教員が元気になる心理的安全性



教員・学生の主体的な学びを引き出すために、学校という組織が心理的安全性の保たれた環境であることは重要です。本特集では、看護専門学校や看護系大学において心理的安全性を高めるための方略を探ります。教員・学生が生き生きと元気に学べる学校づくりのヒントをご提供します。

バックナンバーご購入 & 年間購読お申し込み方法

- ・最寄りの書店 & 生協にてご注文
- ・ホームページ <https://www.igaku-shoin.co.jp/journal-subscription>
- ・お電話にて TEL：03-3817-5650（医学書院 販売・PR部）

○ 2022年6月号（Vol. 63 No. 6）以前の号についてのご注文や在庫の照会
は下記へお問い合わせください。
株式会社東亜ブック TEL：03-5947-4781 FAX：03-3923-4539
<http://www.toabook.com>